

平成21年度 実施メニュー実施結果表

No. 13

取組名	地域住民への情報提供（新規）
流域名	下越流域
実施箇所及び実施日	下越森林管理署 平成21年5月30日
取組の背景及び必要性	下越森林管理署新庁舎は、新潟県産材である「越後スギ」を96%使用し、平成21年3月に完成。 この機会を利用し、地域の方々に森林管理署の仕事について理解していただき、地域に愛される森林管理署を目指してイベントを開催した。
取組の内容	地域住民及び小学生を対象に新庁舎の見学会と森林教室（木工教室）を開催。
国有林担当部局・役割	下越森林管理署：企画、募集、案内、指導等
連携協働相手先・役割	地域住民：見学、体験

【参考資料】

取組名	地域住民への情報提供
-----	------------

**下越森林管理署
新庁舎見学会と木工教室開催**

木の香りいっぱいの新庁舎を見学してみませんか。当日は、木工教室も開催します。自分で作った作品は自由にお持ち帰りできます。申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

●とき／5月30日⑨午前9時～正午（雨天の場合は中止）

●ところ／下越森林管理署構内駐車場及び新庁舎内（大手町4）


●対象／どなたでも参加できます。ただし、幼児には大人の同伴が必要です

●内容／①木工教室（ゆかいなモックンづくり・丸太切体験・小鳥の巣箱作成・木の葉による「しおり」作成など）、②木の香りいっぱいの新庁舎見学

●料金／無料

●その他／駐車場は旧県立新発田病院駐車場をご利用ください

●問い合わせ先／下越森林管理署（☎22・4146）



「広報しばた」5月1日発行に掲載



下越地方の国有林を管理・保全している下越森林管理署。2月に新庁舎が完成し、5月30日には、見学会が行われました。

新庁舎は、森林管理署らしく「越後スギ」など、新潟県産の木材をふんだんに使用。新発田城のすくそばで、「市景観計画」では「歴史景観エリア」に位置づけられており、正面玄関は大手門をイメージした造りとするなど、景観にも配慮しています。

中に入ると、庁舎中に木の香りが漂い、まるで森の中のロッジのようです。訪れた見学者は、口々に「すばらしい」、「住んでみたい」などと話していました。

また、当日は、巣箱を作る木工教室や、木の摩擦で火種を作る「火起こし」体験など、木とふれあう催しが行われました。「火起こし」に参加した子どもたちは、慣れない手つきで、汗だくになりながら、火が起きるまで何度も挑戦していました。



「木工教室の様子」

「広報しばた」7月1日発行に掲載

**下越森林管理署が新庁舎に
森の中にあるような事務室**